

《沼田ならではの新たな教育スタイル》沼田町一貫・連携教育 幼小中の「新たな授業づくり」に向けて！！



▲ 6/26 小5外国語乗り入れ授業

～一貫・連携教育公開研究大会開催準備進む～
一貫・連携教育最大の長所は、教職員・保護者・町民が、幼稚園、小学校、中学校とそれぞれ区別して行ってきた子ども達の教育を、今まで以上に幼・小・中10年間通して行う視点を持つことが出来ることです。沼田町では、10月28日の「一貫・連携教育公開研究大会」開催に向け準備を進めています。次に三点紹介します。

1 プレ授業効果

6月22日には小3算数（わり算）・中1数学（文字と式）、6月26日には小5外国語活動（ハイフレンズ）の10月本番に向けたプレ授業を実施しました。このことにより、今まで以上に幼・小・中教職員相互の一貫連携の意義と効果が鮮明になってきました。

2 新たな授業づくりへ

第2回教育振興会全体会において、教職員から一貫・連携した新たな授業づくりについての積極的な意見が上がりました。早速、教職員の意見を具現化し、7月15日には第1回授業検討委員会を開催し、系統性（幼小中10年の積み上げ）や学習ガイド（幼小中10年の学びのルール）を意識した「新たな一貫・連携教育の授業づくり」について精力的な検討が進んでいます。幼小中の教職員が変わり、子どもが変わり、沼田の教育が変わる大きな一歩です。

3 公開研究大会に向けて

6月に全道14管内に向けて第一次案内を発信しました。公開研究大会では、①音楽（小中合同授業）、②算数（小6）、③数学（中2）、④外国語活動（小5）、⑤生活科（小1～幼稚園と連携）が決定しており、公開準備を進めています。



▲ 7/15 第1回授業検討委員会

おめでとう！城田有梨さん！全道へ！！

～「少年の主張」空知大会最優秀賞～

7月14日、新十津川町で開かれた地区大会で「私の未来予想図」と題し、地域の医療過疎について自らの体験や見聞きした事柄を交えスピーチし、最優秀賞を受賞しました。城田さんは、小学校時代からたくさんの本を読み、理路整然とした表現で数々の受賞歴があります。中学3年生となり、さらに論調に磨きがかかった感あり！「地域医療の思い」が、抜群の論旨として評価され、空知地区代表の座を射止めました。9月3日、札幌中央区「かでの2・7」で開かれる全道大会に向け、毎日練習に励んでいます。明るい話題に沸く沼田町、ありがとう輝く沼田っ子、がんばれ城田有梨さん！！

